

# 住まいのかわら版

Vol.10

2023年5月号

OGIKEN

<発行>

株式会社 萩野建築企画  
戸田市上戸田1-1-17  
TEL.048-445-5277

髪のお手入れで美髪を目指しましよう！髪の美しさを保つことで、健やかで生き生きとした印象にもなります。

みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報を届けいたします。今回のテーマは「髪のお手入れ」です。

寒暖の差が激しく、紫外線もだんだん強くなる時期、髪のパサつきが気になりますね。普段のケアでキレイな髪を育みましょう。

予洗い＆シャンプーで丁寧に汚れを落とす

シャンプー前にシャワーですぐ、つまり予洗いをすることで、汚れの大半は落ちると言われています。シャワーの水流を利用し、地肌をよくすすぎ、髪は優しくなるように洗いましょう。そもそもシャンプーは、地肌を洗うことが一番の目的。手で泡立ててから使いましょう。髪で泡立てると摩擦で髪が傷む一因にシャンプーをそのまま地肌につけると、頭皮が乾燥する恐れがあり、湿疹やフケの原因になります。

シャンプーを適量取つてお湯を少しだし、両手で空気を含ませるよう



洗髪前にはブラッシングすることで、髪の絡まりを解消し、シャンプー時の髪の摩擦を軽減したり、洗髪中に髪が引っかかる抜けることも防げます。

に泡立てます。泡立ちが穩やかなタブは、シャンプーとお湯をなじませてから使いましょう。泡を頭に乗せたら、地肌を指の腹でやさしく、円を描くように洗います。耳の後ろや後頭部の首の付け根付近も丁寧に。ちなみに、パークの後、1週間は特に髪をこすりすぎないように。パークの形状記憶が落ちやすくなります。

髪に栄養を与える  
温&冷風で仕上げる！

シャンプー後は、トリートメントを。髪に栄養を与え、ダメージを補修してくれる効果が期待できます。トリートメントを適量取り、手で広げて毛先からつけます。説明書にあるとおりの時間を置くことで、成分が浸透します。

トメントが傷むおそれがあるので、40度以下

がおすすめです。



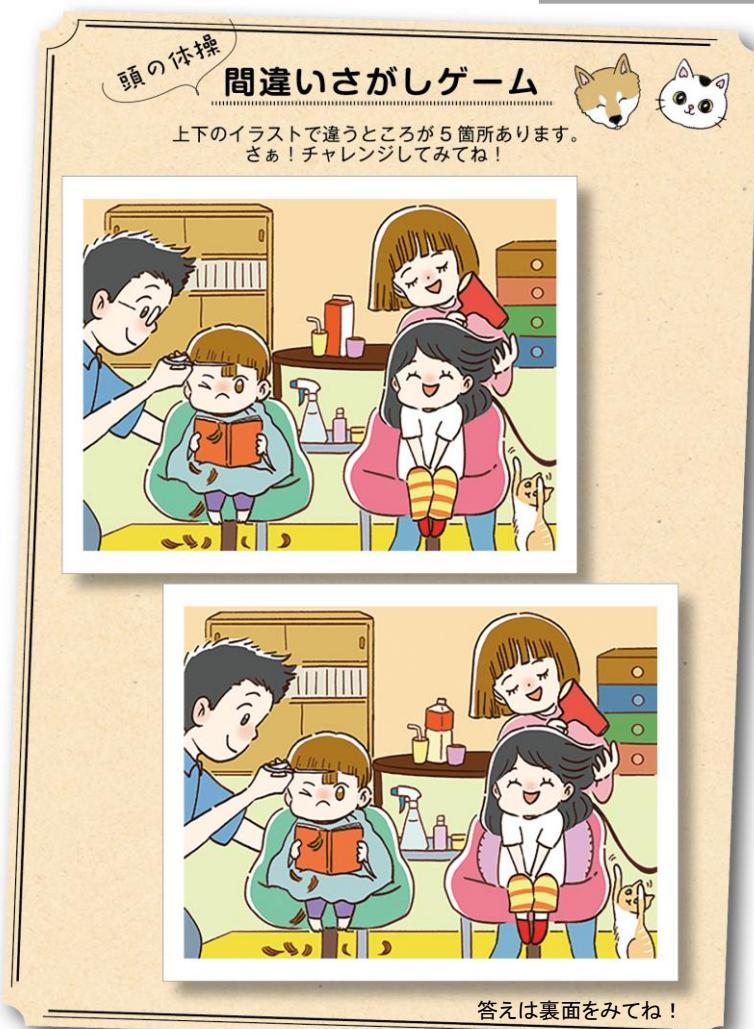
トリートメント時のスペシャルケアとして、蒸しタオルもおすすめです！5～10分お風呂で温まりながら行うと良いですよ♪

よって、トリートメントの後に使うのも良いですね。

15セントほど離し、髪を持ち上げたり、かき分けながら、根元から乾かします。ドライヤーの熱が1ヶ所に留まらないよう、小刻みに振りながら、乾かしましょう。前髪など、毛量が少ないところは、弱温風で乾かすと良いですよ。弱温風のまま、手ぐいで髪を整えながら全体をさらに乾かし、仕上げに冷風をあてるなどで、キューティクルが引き締まり、まとまりも良くなります。



ヘアオイルは朝にもおすすめ♪紫外線や乾燥から髪を守ってくれます。スタイリング剤代わりに使ってもOKです



答えは裏面をみてね！